



城陽市歴史民俗資料館

友の会だより

編集発行：城陽市歴史民俗資料館友の会
〒610-0121 城陽市寺田今堀1番地 城陽市歴史民俗資料館
TEL0774-55-7611 FAX0774-55-7612 www.city.joyo.kyoto.jp/rekishu/
発行日：令和3(2021)年3月11日

No. **47**
2021.3

新しい年度が始まりました!!

城陽市歴史民俗資料館友の会令和3年度の事業方針

城陽市歴史民俗資料館友の会
会長 泰地 賢治

三寒四温の候、寒の戻りはあるものの暖かな春の息吹が感じられる今日この頃です。

新しい年度を始めるに当たり、友の会の昨年度の状況と今年度の考え方についてご案内します。

【1】令和2年は、新型コロナウイルス感染防止に明け暮れた一年でした。

まず、第9回総会(2020年2月29日)を中止せざるを得なかったため、暫定的に会長を留任し、役員を委嘱し、事業計画(案)に沿って準備を進めることとしました(「新年度の活動について」第46号友の会だより、3月19日)。

その後、全国的に感染が拡大し、資料館も臨時休館となり(3月6日～6月1日)、友の会の活動も自粛せざるを得ませんでした。そのため、やむを得ず役員会で以下の対応を決定しました(今年度友の会「今後の活動方針」について、7月23日)。

- (1) 総会及び当初計画していた行事は全て見送る。
- (2) 来期令和3年度の年会費は徴収しない。

【2】今年度は、これまでお楽しみ頂いてきた恒例の事業をできるだけ開催したいと思います。しかしながら、新規感染者が減少傾向にあるとはいえ、未だ事態が終息したとは言えないため、昨年度と同様、新型コロナウイルス感染防止を最重点課題とし、慎重に対処します。

(1) 基本的な対応は以下の通りです。

- ① 今期の事業は取りあえず役員会の責任で遂行し、コロナ禍が終息した段階で総会を開催して事後承認を頂くこととします。
- ② 会員各位に議案書関連資料〔前年度の事業報告と会計報告(会計監査済)、今年度の事業計画、予算案と役員一覧〕をお知らせします(本誌[第47号友の会だより]参照)。
- ③ 総会の記念講演の代わりとして、新たに「特別講演会」(講師：家塚智子氏)を開催します(4月24日)。

(2) 令和3年度計画している事業

詳しくは別途ご案内します。

- 文化財講演会(6月)、
- 古文書講座(6月下旬～7月)、
- 研修見学会(秋季)、
- 仏像講座(11月～12月)、
- ボランティア活動など。

(3) 友の会の活動について、

速やかにお知らせします。

そここで梅の便りが聞かれ、昨年話題となったコウノトリのひかりちゃんも帰ってきました。一日も早くコロナ禍が終息し、穏やかな日常が戻ることを願っています。

寒暖の差が厳しい折、お身体ご自愛ください。そして、笑顔でお会いしましょう。

城陽市歴史民俗資料館友の会 2020（令和2）年度事業報告（2020.1～2020.12）

事業名	内 容	結 果	
第9回総会	総会	[2月29日] 2019年度事業報告、同会計報告、会長選出、2020年度事業計画案、同予算案	中止
	記念講演会	[2月29日] 家塚智子氏「平安時代の山城」—城陽市域を歩き交う人びと—	中止
研修見学会	第53回	[5月14日] 吹田・茨木・長岡京方面	中止
	第54回	[11月頃] 明日香方面	中止
講 座	文化財講座	[6月20日] 城陽市の文化財最新情報	中止
		[8月29日] 小泉裕司氏「城陽の古代史新発見—最新の発掘調査成果から—」	資料館と共催
	古文書講座	[8月～9月] 古文書の解説（全4回）	中止
	仏像講座	[11月～12月] 仏像について（座学・現地見学）（全4回）	中止
ボランティア活動	資料館事業	【勾玉つくり教室】8回開催（延べ55名） 1/12（7名）、2/23（8名）、7/12（7名）、7/26（8名）、 8/9（8名）、8/23（8名）、10/11（5名）、10/25（4名）	一部実施
		【縄ない体験教室】 小学3年生対象（2月、10回開催、参加9校、合計602名） 寺田西小（2/4、51名）、久津川小（2/6、53名）、寺田南小（2/6、66名）、古川小（2/7、46名）、西小倉小（2/13、57名）、富野小（2/14、106名）、久世小（2/19・20、101名）、 深谷小（2/20、52名）、今池小（2/21、70名） ★コロナで中止：寺田小、竹田小、青谷小	一部実施
	エコミュージアム事業	【火起こし体験】11月22日 31名	実施
広 報	友の会だより	[3月1日] 令和元年度第3回エコツアー	中止
		[3月19日] 第46号	発行
		[7月] 第47号	延期
	コロナ禍対応	[11月] 第48号	延期
		[3月19日] 新年度の活動（経緯と今後の考え方）：第46号友の会だより	発信
		[4月下旬] 友の会の行事（現状と今後の対応）	発信
	[7月23日] 今後の活動方針（役員会で決定）	発信	
加盟団体	城陽市市民活動支援センター登録団体	更新	
	城陽市社会教育関係団体	更新	

★資料館臨時休館（新型コロナウイルス感染防止のため）：3/6～6/1

城陽市歴史民俗資料館友の会 2020（令和2）年度決算報告

【収入の部】

科 目	予 算	決 算	内 訳	
会 費	118,500	112,000	継続個人会員 51名×1500円 継続家族会員 18名×1000円 新規会員 10名×1500円 新規家族会員 2名×1000円 追加家族会員 1名×500円	"76,500 18,000 15,000 2,000 500"
その他	0	0		0
繰越金	110,430	110,430	(令和2年度収入 112,000)	110,430
合 計	228,930	222,430		222,430

【支出の部】

科 目	予 算	決 算	内 訳	
事業費	41,000	0	第53回研修見学会 中止 第54回研修見学会 中止 仏像講座 中止 仏像講座現地研修会 中止	0
郵送費	40,000	29,243	友の会だより1回 新年度活動予定案内 コロナ禍の行事と対応のお知らせ 活動方針 会員証郵送など	29,243
総会費	20,000	0	総会中止につき講師謝礼など出金なし	0
事務費	3,000	440	白紙ハガキ用紙 200枚分	440
負担金	1,000	480	会員入館補助金 160×3名	480
予備費	10,000	300	駐車料（役員会）	300
その他	113,930	191,967	(次年度への繰越金 予算と決算)	0
合 計	228,930	222,430		30,463

収入合計 222,430 - 支出合計 30,463 = 残金 191,967 ※差引き残高は翌年度に繰越し

令和3年1月10日

会計帳簿、収入・支出伝票、預金通帳など監査の結果、適当と認めます

会計担当 吉田 好男

会計監査 島本 憲司 ㊞

会計監査 加藤 明美 ㊞

令和3年(2021年)城陽市歴史民俗資料館友の会 予算

収入の部

金額：単位円

科目	金額	内訳	
会費	4,500	継続会員 59名	0
		継続家族会員 22名	0
		新規会員 3名×1500円	4,500
繰越金	191,967		191,967
合計	196,467		196,467

支出の部

金額：単位円

科目	金額	内訳	
事業費	34,000	第53回研修見学会補助金	13,000
		仏像講座補助金	10,000
		仏像講座現地研修補助金	5,000
		古文書講座補助金	6,000
総会費	5,000	会場使用料	5,000
特別講演会	20,000	講師謝礼、会場使用料	20,000
文化財講演会	5,000	会場使用料、その他	5,000
郵送費	40,000	友の会だより3回 仏像講座案内 古文書講座案内 研修会案内・その他連絡	40,000
事務費	1,000	事務用品 白紙ハガキ用紙など	1,000
負担金	1,000	入館補助金	1,000
予備・雑費	30,000	図録代(映画の世界)28,000 駐車料他	30,000
その他	60,467	(次年度への繰越金)	60,467
合計	196,467		196,467

令和3年度支出予算 136,000円

城陽市歴史民俗資料館友の会 2021(令和3)年度事業計画

事業名	内容		
研修見学会	第53回	秋季	実施予定(春季は中止)
講座	特別講演会	4月24日	家塚智子氏(源氏物語ミュージアム)「平安時代の山城」-城陽市域を行き交う人びと-
	文化財講座	5月30日	浅井猛宏氏(城陽市)・小泉裕司氏(府埋文センター)「城陽市の最新文化財情報」
		6月12日	伊藤太氏(山城郷土資料館)「光秀・幽斎・義昭と城陽・宇治」
	古文書講座	6月下旬~7月	田中香織氏(城陽市歴史民俗資料館)古文書の解説【全4回】
ボランティア活動	城陽市歴史民俗資料館事業		勾玉教室、考古学教室その他
	エコミュージアム事業		エコツアー協力その他
広報活動	友の会だより	3月、7月、11月	年3回発行
	友の会HP	随時	更新

城陽市歴史民俗資料館友の会 2021(令和3)年度役員一覧

役員名	氏名	担当
会長	泰地 賢治	特別講演会、仏像講座、友の会HP
副会長	吉田 好男	
副会長	小林 心一	文化財講演会、ボランティア窓口
会計	吉田 好男	
理事	村上 直美	仏像講座
理事	佐藤 公美	文化財講演会
理事	高橋 正典	友の会HP
理事	稲岡 計子	古文書講座
理事	名子 昇	友の会だより編集
理事	村上 弘芳	古文書講座
会計監査	島本 憲司	
会計監査	加藤 明美	
相談役	脇田 健	
顧問	工藤 香代子	

「平安時代の山城 —城陽市域を歩き交う人びと—」へのいざない

講師 宇治市源氏物語ミュージアム学芸員 家塚 智子

城陽市域は、「五里五里」で知られているとおり、京都へも奈良へも五里（約二十キロメートル）で、ちょうど中間に位置します。「城陽」という地名自体は新しいですが、城陽市域には豊かな文化財が伝わり、数多くの文献史料、文学史料に記載されています。城陽市域で、なにか大きな事件が起こらなくとも、城陽市域については描かれます。そうした記述は、事件や出来事を記録する古記録、古文書よりも、和歌や物語などの文学作品に多く登場します。和歌や物語という媒体は、人びとの心情を豊かに描きます。また読者もそうした作者や登場人物の心の機微に感動します。文学作品は、城陽市域で起こった出来事だけではなく、ここで見たもの、見えたもの、感じたことを描写することが可能なのです。そういうことを意識して、今回の講座では、平安時代、京都と奈良との間を歩き交う人びとが見た城陽市域について、紹介したいと思います。

平安時代の貴族の行動範囲は限られていました。一方、清水寺（京都市）、石山寺（滋賀県大津市）、長谷寺（奈良県桜井市）をはじめとする観音霊場には盛んに参詣しました。たとえば、藤原道綱母『蜻蛉日記』、菅原孝標女『更級日記』には、長谷寺への参詣について、その道中についても記録され、道中を楽しんでいたことも窺えます。城陽市域を含む宇治からは木津の間については、栗駒山、費野の池、朴の森などについて描写されます。清少納言の『枕草子』に「池は費野の池」とあり、歌枕としても知られています。平安時代の人たちは、そうした歌枕として名高い場所や風景を楽しみ、そして自らも和歌を詠んだり、記録に残したり、回想したりしました。これらは、今日に至るまで伝わり、私たちも先人たちの感動を共有できるのです。

なかなか遠くに出かけることが難しい昨今です

が、身近な山や川を眺めたり、本を読んだりすることは可能です。先人たちに思いを馳せ、身近な風景や自然を楽しみ、地域の歴史や文化に触れるのも良いかもしれません。

○講師紹介

家塚 智子（いえつか ともこ）

現在 宇治市源氏物語ミュージアム学芸員（宇治市教育部博物館管理課 副課長）

奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程 修了 博士（文学）

城陽市歴史民俗資料館嘱託職員（市史編さん担当）等を経て、2010年より宇治市源氏物語ミュージアム学芸員、2020年より現職。

専門は日本中世史、日本文化史。室町時代における武家社会の文化について研究していますが、最近は『源氏物語』の享受について関心があります。主な著書『はじめての源氏物語 宇治へようこそ』（一般財団法人 宇治市文化財愛護協会 2015年）、論文に、「『源氏物語』ゆかりの地・宇治を訪れた人びと」（『旅行者と地域が創造する「ものがたり観光」』京都文教大学地域協働シリーズ 第3巻 ミネルヴァ書房、2021年）など。

演題 「平安時代の山城—城陽市域を歩き交う人びと—」
日時 4月24日（土） 14:00～15:30（開場13:30～）
場所 文化パルク城陽（西館3階） 第3会議室
講師 源氏物語ミュージアム学芸員 家塚智子氏
定員 先着30名程度（会員の優先枠を設けています）
申込 4月18日（日）10時から資料館に直接か
電話（0774-55-7611）にて申込みください

古文書講座 「更級日記」を読む

古文書講座「更級日記」(6月下旬～7月開講)のお知らせ

古文書講座「更級日記」を読む

日時 6月下旬～7月

10:00～11:30

場所 文化パルク城陽(西館3階)

講師 歴史民俗資料館 田中古文書調査員

定員 先着30名程度(会員の優先枠を設けています)

申込 資料館に直接か電話(0774-55-7611)で
お申込みください

今回の古文書講座は、毎回講師をお願いしています歴史民俗資料館の田中さんに講義の内容をお聞きしましたので紹介します。

更級日記は、平安時代中頃に書かれた回想録で。作者は菅原道真の5世孫にあたる菅原孝標の次女・菅原孝標女。母の異母姉は『蜻蛉日記』の作者・藤原道綱母。夫の死を悲しんで書いたといわれています。

作者13歳(数え年)の寛仁4年(1020年)から、52歳頃の康平2年(1059年)までの約40年間で綴られています。全1巻。『蜻蛉日記』『紫式部日記』などと並ぶ平安女流日記文学の代表作の一つに数えられる日記文学です。

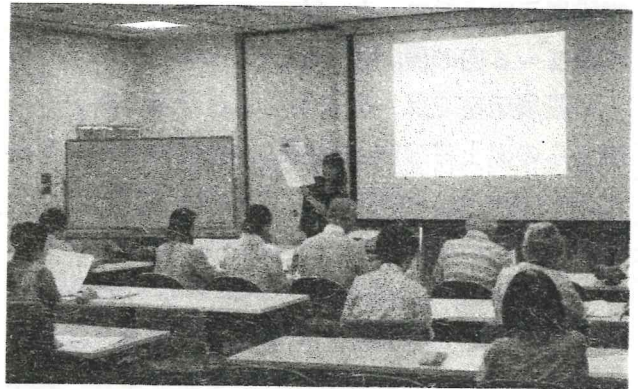
①第一回目：

父の任地上総国(千葉県中央部)から京の都まで旅をした際の風景や出来事を書いています。(併せてこの講座の概要の説明も)

②第二回目：

彼女は物語の世界、特に『源氏物語の浮舟や夕顔』の様な恋愛に憧憬の念を持っていましたので、叔母さんからそれが貰えそうだというドキドキ感を含めてこの日記は進んでいきます。

前回古文書講座の様子



③第三回目：

『浮舟』に憧れて理想はあくまでも高かったのですが、今でいう“お見合いで結婚”をします。物語の世界と現実の違いを認識し、夫や子供の将来を願うという現実的な夢を追うこととなります。しかし信濃守となった夫が急死して悲しみにくれます。

④第四回目：

まとめに入ります。

更級日記は「孝標女の自叙伝であり回想録」です。平安時代の中流貴族の生活や当時の女性の生き方がはっきりと読み取れる様です。

歴史民俗資料館 常設展示室
古文書の展示は年4回
展示替えをおこなっています。

歴史民俗資料館常設展示室の古文書展示に関しては資料館保管の古文書を年4回更新/展示「(解) 釈文付き」しています。

春季：農村の様子等の古文書を中心に

夏季：洪水をはじめ自然災害の記録等

秋季：地域の祭礼等の史料中心に

冬季：新たに収蔵した文書等

是非ご覧ください。

(古文書講座担当)

令和3年度 年間事業計画（概要）

城陽市歴史民俗資料館館長 佐橋 徹

常設展示室民俗コーナーは 年間5～6回の展示替えをしています

常設展示室では、従来からある城陽の歴史や古墳からの出土品の展示の他に、民俗コーナーや近世コーナーでは年間5～6回の展示替えを行い、季節や時期にあったテーマの資料を紹介しています。

特別展示室では春季は市内にある古墳の紹介と、城陽市の発掘調査の速報展を、夏季と秋季はそれぞれ、特別展を開催いたします。また、冬季は昔のくらしと風景展を開催します。

特別展・体験教室などを開催

各特別展では、体験教室や講演会を会期中に2回程度実施します。体験教室や考古学教室、勾玉づくりなど年間を通してそれぞれ6回～9回程度実施します。尚、実施日や内容などにつきましては資料館のホームページや広報じょうようなどを通じて事前にお知らせします。



ボランティアの皆さんの協力で、「勾玉教室」などもおこなわれました。

友の会ボランティア活動のご案内 勾玉づくり体験指導のお手伝いを してみませんか

友の会では体験教室や勾玉づくりなどの普及活動の際のボランティアを随時募集しています。普及活動の年間事業計画にそって、勾玉づくりの際に体験参加者のお手伝いをさせていただきます。計画された日程を見ていただき、ご都合のつく回に参加していただければありがたいです。初めての方でも、ベテランのボランティアの方から教えていただけます。ボランティアをきっかけに新たな人と人とのつながりも生まれます。

ボランティアの登録は随時おこなっていますので、興味のある方は下記へお問い合わせください。

コロナ禍の事情により、 縄ない体験は中止します

例年、ボランティア活動をしていただいていた縄ない体験は、コロナ禍の事情により、今後は中止といたします。お世話になりました皆様方、ご協力ありがとうございました。



☑2021年1月23日～3月21日開催の冬季特別展「心ときめく映画の世界」

城陽市歴史民俗資料館友の会 会員募集中！

城陽市歴史民俗資料館友の会では、研修見学会、文化財講座、古文書講座、仏像講座等いろんな企画を計画しています。ぜひお友達、お知り合いの方にご紹介ください。

歴史民俗資料館年間事業
友の会ボランティアについてのお問い合わせ
城陽市歴史民俗資料館
電話 0774-55-7611 FAX0774-55-7612



城陽市歴史民俗資料館友の会だより 第47号

発行日 令和3(2021)年3月11日
編集 城陽市歴史民俗資料館友の会広報
連絡先 城陽市寺田今堀1番地
城陽市歴史民俗資料館
電話 0774-55-7611 FAX0774-55-7612
www.city.joyo.kyoto.jp/rekishi/